

# 導入可能性エリア(案)について

## —目次—

- |                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. 導入可能性エリア(案) 抽出の経緯      | p1 |
| 2. 導入可能性エリア(案)            | p5 |
| 3. 導入可能性エリア(案)を除く範囲の取扱い方針 | p6 |
| 4. 導入可能性エリアの抽出に向けて        | p7 |

吉 岐 市

# 1. 導入可能性エリア(案)抽出の経緯

- 導入可能性エリア(案)は、以下に示す手順に従い抽出した（各検討結果は次ページに示す。）。

## 導入可能性エリア(案)の抽出に際しての課題

### ■ 当該海域の特性に起因する課題

- 候補エリアは、いずれも漁場利用が活発であり依然として多くの課題が残されている。

### ■ 他地域との調整に係る課題

- 「地元の海」との認識が一般的な共同漁業権範囲内も含めて検討しなければ、他地域の理解を得ることは困難。

- 一般海域には、他地域の利害関係者が多数存在しており、調整が非常に困難。

### 関係機関との協議

- 長崎県
- 運航事業者
- 地先漁協等

### ①候補エリアの見直し

- 候補エリアを事業性の観点から一定の範囲に区分。
- 上記より比較的課題が少ないと考えられる海域を抽出。

### ②沿岸域のエリア追加

- 共同漁業権範囲内から環境保全上重要な海域を除いた範囲を抽出。

### ③先行利用者との協議結果の反映

- 先行利用者との協議を基に、調整可能と判断した海域を抽出。

## 導入可能性エリア(案)の抽出に向けた検討

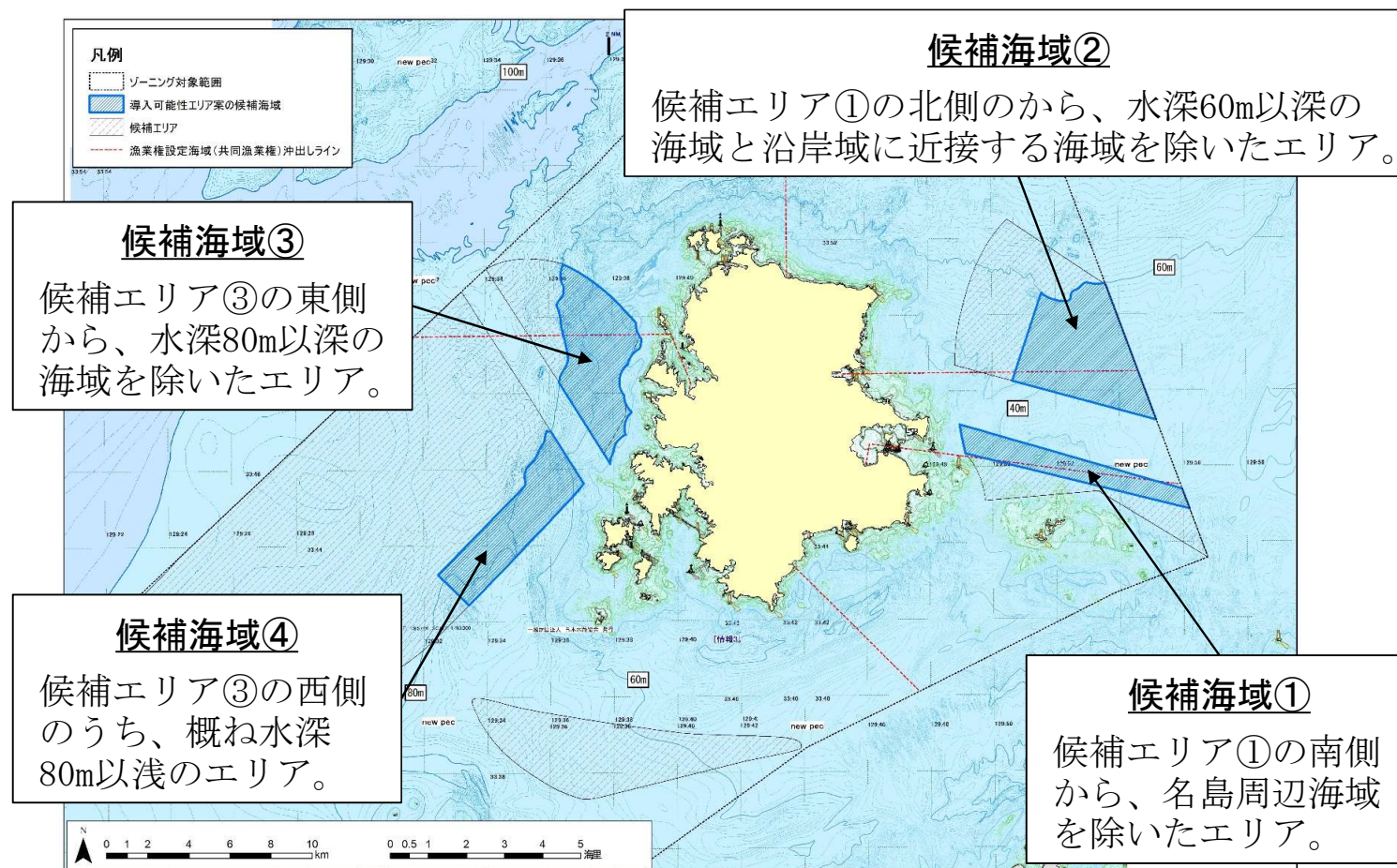
導入可能性エリア(案)

# 1. 導入可能性エリア(案)抽出の経緯

## ① 候補エリアの見直し

- 候補エリアを事業性の観点から一定の範囲に区分し、比較的課題が少ないと考えられる海域を導入可能性エリア(案)の候補海域として抽出した。
- ただし、候補エリア②については事業性の観点から除外することとした。
- 検討の結果、候補エリア内から、導入可能性エリア(案)の候補となる海域を4箇所抽出した。

【候補エリアの見直しにより抽出した候補海域】



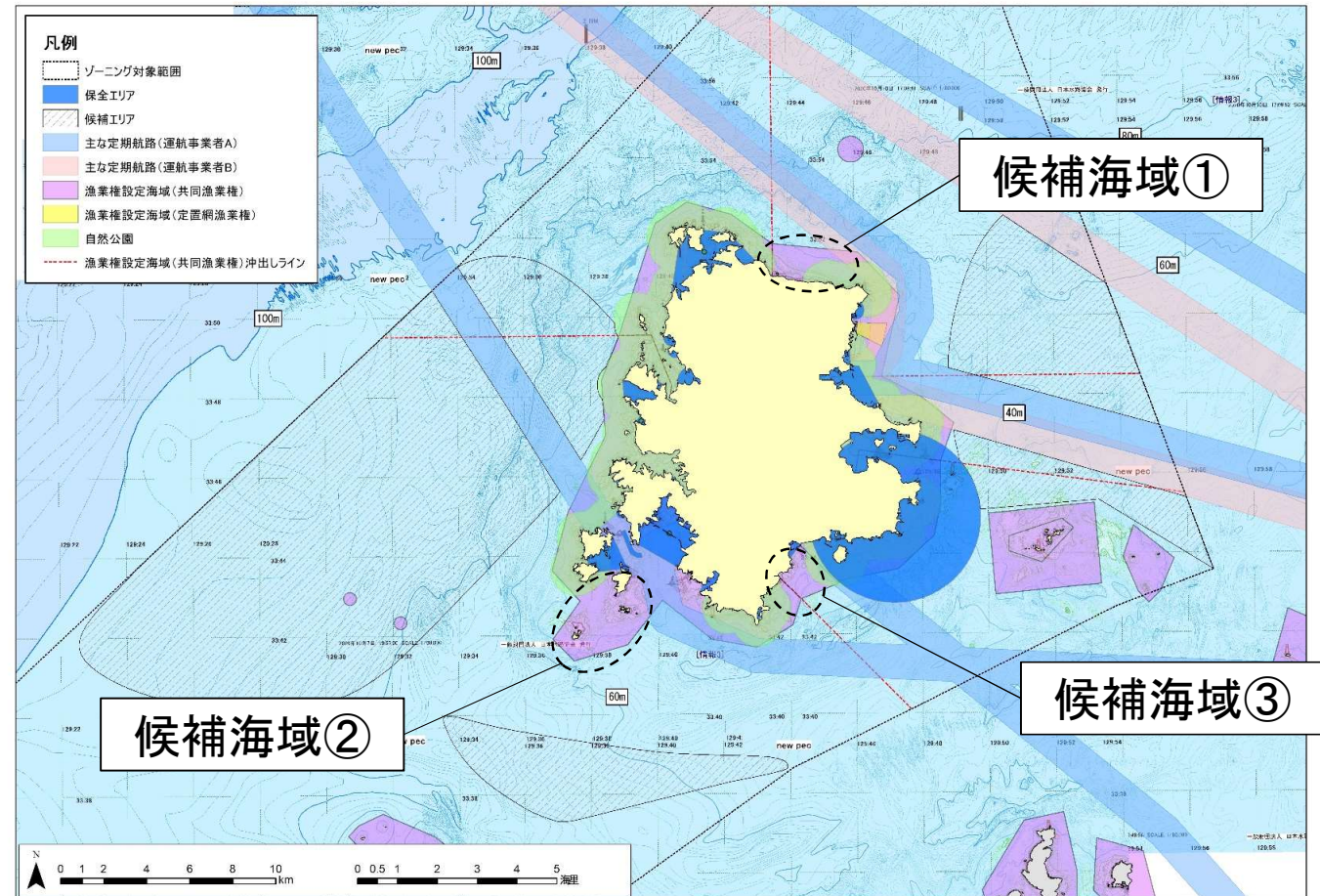
⇒抽出された4箇所の候補海域を導入可能性エリア(案)として設定する。

# 1. 導入可能性エリア(案)抽出の経緯

## ② 沿岸域のエリアの追加

- 陸域に近接した沿岸域（共同漁業権範囲を中心とした海域）についても、導入可能性エリアの可能性を検討した。
- 壱岐沿岸域には、自然公園区域や景観の保全上重要な海域が広範囲に存在しているため、これらへの影響に配慮し、導入可能性エリア(案)の候補となる海域を抽出した。
- 結果として、壱岐沿岸域において3箇所候補となる海域が抽出された。

【沿岸域における候補海域】



⇒抽出された海域は、いずれも範囲が狭小であり、事業性の確保が困難。

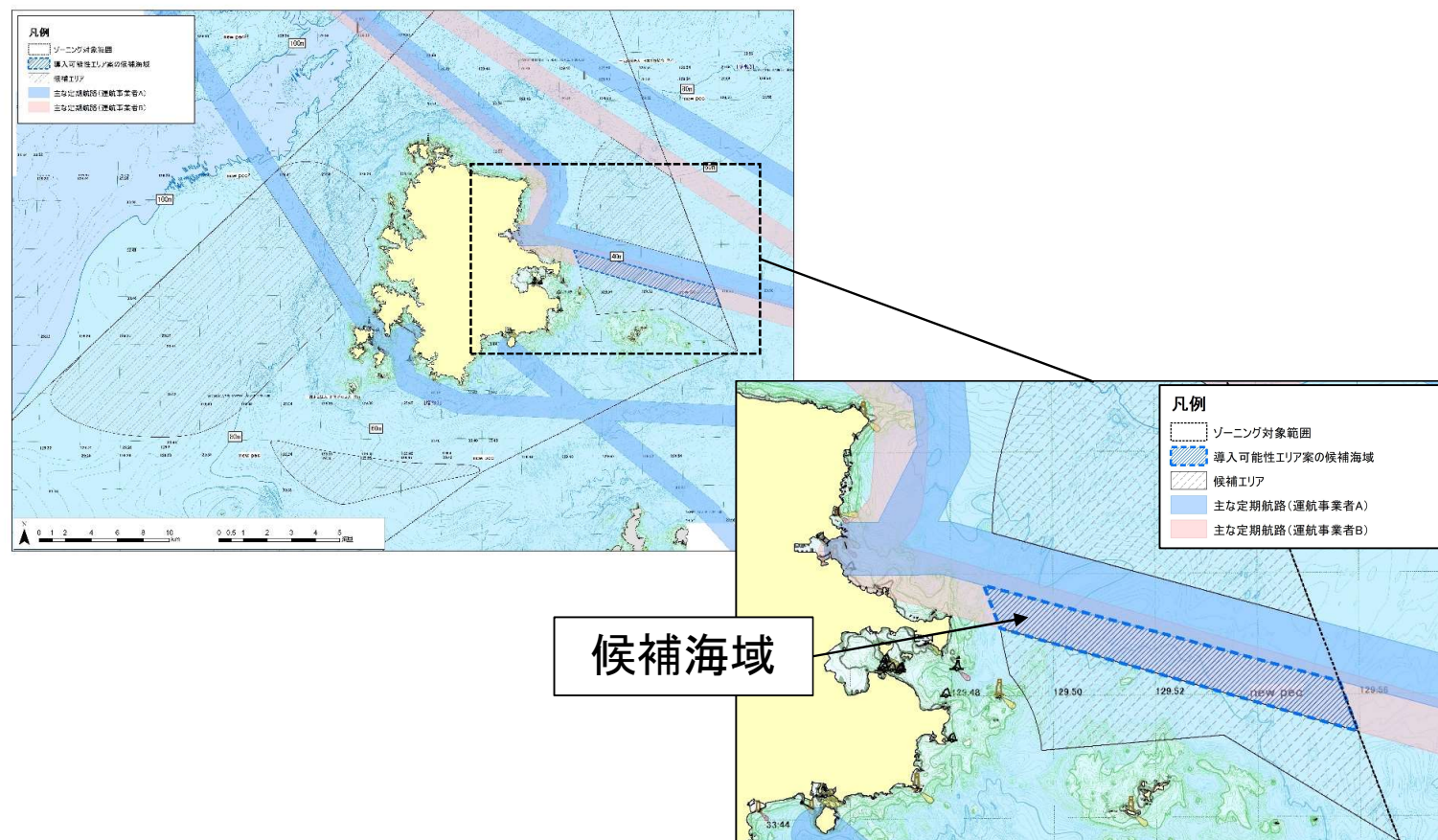
⇒以上より、本事業においては、沿岸域を中心としたエリアを検討の対象から除外することとした。

# 1. 導入可能性エリア(案)抽出の経緯

## ③ 先行利用者との協議結果の反映

- 候補エリア①の間には、博多～芦辺間を航行する2社の定期航路が存在している。
- この定期航路について、運航事業者Bにヒアリングを実施したところ、運航事業者Aの航路と同じ位置に変更することは可能との回答を得た。
- 上記より、博多～芦辺間の航路は一航路と考え、これにより生じた空間について、洋上風力発電の導入可能性を検討した。

【先行利用者との協議を基に抽出した候補海域】

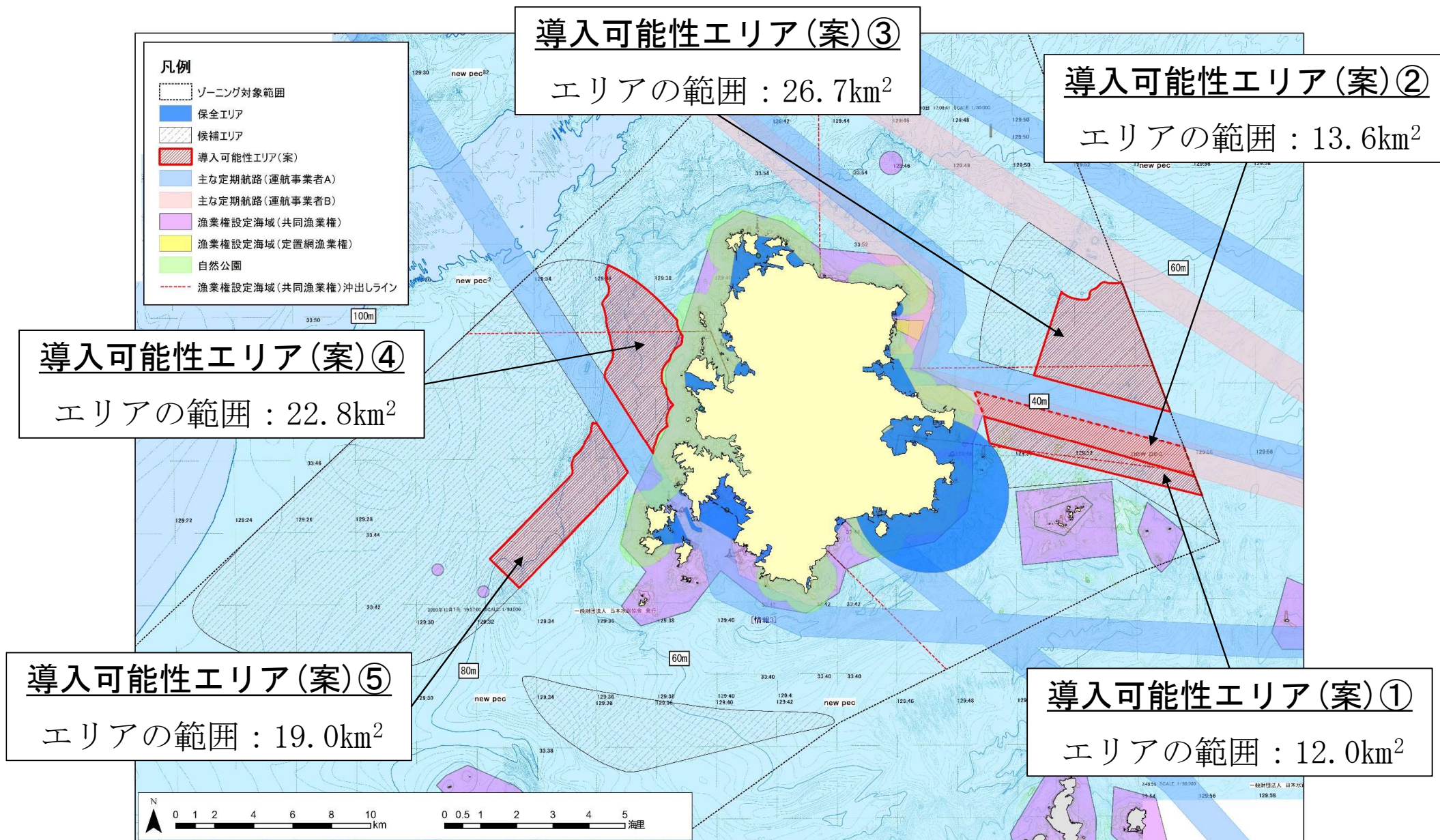


⇒抽出した候補海域は、候補エリア外から新たに抽出されたエリア。

⇒本協議会で、ご了承いただけた場合に、導入可能性エリア(案)に加える。

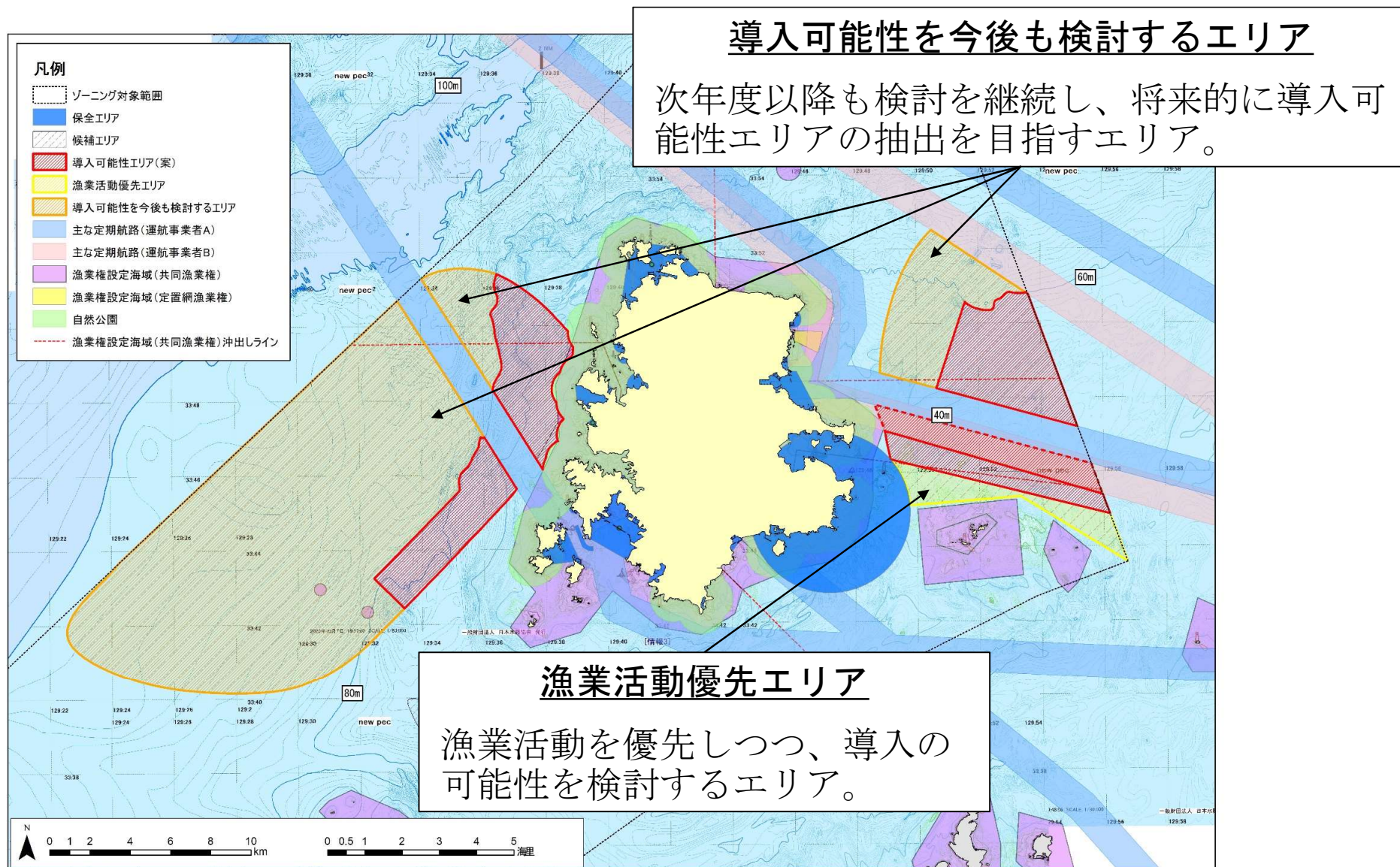
# 2. 導入可能性エリア(案)

- 前述の検討により抽出された候補海域を基に、5箇所の導入可能性エリア(案)を抽出した。



# 3. 導入可能性エリア(案)を除く範囲の取扱い方針

- 導入可能性エリア(案)を除く候補エリア内の残りの海域は、「導入可能性を今後も検討するエリア」または「漁業活動優先エリア」と設定し、前者については、次年度以降も検討を継続することを想定。



## 4. 導入可能性エリアの抽出に向けて

- 「導入可能性エリア(案)」を基に各主体との協議・調整を実施し、本年度中に「導入可能性エリア」の抽出を目指す。
- 「導入可能性を今後も検討するエリア」は、今後も検討を継続し、次年度以降の「導入可能性エリア」抽出に向けて協議・調整していく。
- 「漁業活動優先エリア」については、漁場環境の保全を優先しつつ、導入の可能性を協議・調整していく。

